

THE KILLER WHALE TIMES

2025年度 茨戸レガッタ号

皆様いかがお過ごしでしょうか。タイムス班の森山です。今回は茨戸レガッタ号のタイムスを発行させていただきます。今年は天候に恵まれ2日間ともに1000mレースを行うことが出来ました。

RACE RESULTS

○男子1× 1000mレース

予選1組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	山本（函館水産）	棄権	4
2	森山（商大）	4'16"82	2
3	田中（道新 RC）	4'00"05	1
4	松下（北大）	4'36"75	3

予選3組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	田中（北大）	4'19"15	3
2	杉木（道新 RC）	4'01"48	1
3	酒谷（函館水産）	棄権	4
4	南澤（商大）	4'10"20	2

順位決定5-8位

レーン	クルー名	タイム	着順
1	森山（商大）	4'15"90	4
2	金谷（北大）	4'06"49	2
3	南澤（商大）	4'06"39	1
4	渡辺（北大）	4'08"90	3



↑ 南澤の蹴りだし

↓ 森山の蹴りだし



○女子1× 1000mレース

予選3組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	青木（北大）	4'50"29	2
2	森本（商大）	4'27"87	1
3	鈴木（北大）	4'51"47	3
4			

順位決定 決勝

レーン	クルー名	タイム	着順
1	小笠原（札幌 RC）	4'33"64	4
2	関（北大）	4'22"63	1
3	森本（商大）	4'25"50	2
4	清水（石狩翔陽）	4'32"69	3



↑ 森本けりだし

↓ 森本の表彰



○ジョイフォア 1000mレース

S 西海谷響 3 渡辺結衣 2 本田大斗 B 藤本洸明 C 山之内大起
予選4組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	三菱 UFJ 銀行	3'11"35	1
2	WRC と健太郎	3'37"31	2
3	小樽商大	3'41"74	3
4			

順位決定 16 - 18 位

レーン	クルー名	タイム	着順
1	WRC と健太郎	3'36"74	2
2	東農大ボート部 A	3'30"47	1
3	小樽商大	3'46"03	3



↑ジョイフォアの蹴りだし



○エキシビジョン8+ 900mレース

C 坂村凜 S 櫻田昂佑 7 阿部優介 6 西海広亮 5 下山健太 (東経大クルー)

4 本庄涼 3 川内賢志郎 2 齋藤友悠馬 B 小高亮太郎

レーン	クルー名	タイム	着順
1	北大医・道新 RC	3'07"30	1
2	東経大・商大	2'57"12	2
3	北大全学	2'51"06	1



↑ 東経大との混成エイト



↑レセプションでの小高（左）と東経大の西海さん（右）



↑ 東経大クルーと記念写真



↑ 商大 OB らによるジョイフォア



↑ 東経大さんからの差入れ



↑ レセプションでの藤本（左）と本田（右）



↑東経大の西海さんと本庄



↑レセプションでの西海谷と齋藤と川内



↑ 閉会式の山之内



↑ 南澤と赤ちゃん

2日目

○男子4+、4×+ 1000mレース

S 本庄 3 川内 2 齋藤 B 小高 C 田鎖

予選 2 組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	北大医学部 玄武	3'44"30	3
2	商大	3'38"48	1
3	石狩翔陽校 (4×+)	3'40"04	2

決勝

レーン	クルー名	タイム	着順
1	小樽商大	3'43"54	3
2	北海道大学	3'34"25	1
3	東京経済大学	3'36"80	2
4	石狩翔陽校 (4×+)	3'47"66	4



↑付きフォア蹴りだし

↓表彰付きフォア





COMMENT

○本庄涼(4)

付きフォアで出場しました。本庄です。

今回の茨戸レガッタで最も勉強になったことは、東京経済大学の付きフォアのメンバーの方々と一緒にエイトを漕ぐことができたという点です。具体的には艇返しのスピード、アップの内容、レース中のコールの反応など、自分たちにとっては新鮮でとても刺激的でした。特に、艇返しがあまりにも速すぎて、自分たちの練習にも活かすことにしました。結果としてメニューの時間短縮や、心拍数の安定にもつながり、練習の質が向上しました。これからのインカレに向けて今回感じたことをうまく繋げていけたらと思います。

○川内賢志郎(4)

僕は付きフォアの3番として出漕しました。まずは1日目の振り返りを。付きフォアのレースは2日目に2レースあるだけなので、1日目はエルゴで2000mttを行いました。僕は6分46.0秒でベストを更新しました。まじで嬉しかったです。乗艇があまり上手くいっ

ていなかったのがエルゴがオアシスになってました。ただ、今シーズンの目標は6分45秒カットなのでまだまだ精進します。

あと、1日目の最後のレースであるエキシビジョンエイトに出ました。クルーはcoxとストフォアが東経大でバウフォアが自分たちといった感じです。田鎖とにいなさん(自分たちの代の偉大なる新トレ)以外のcoxに乗るのが初めてだったのでとても新鮮でした。また、即席クルーなので、最初は当然合いませんでしたが、コース1周のアップの中でどんどん漕ぎが合っていくのが気持ちよかったです。結果は3クルー中2位でしたが、久しぶりのエイトということもあり、楽しかったレースでした。

2日目は正直記憶に残ってません。全日本に引き続き乗艇は迷走していて、全員のエルゴは伸びてるのに艇速は上がらない。バランスも良くない。自分たちの型が定まってない中でのレースになりました。結果は3位でした。妥当な結果だったと思います。インカレへの時間がだんだんと無くなってきて、焦りがどんどん出てきています。インカレまでの間、着実に出来ることをやるつもりです。

○齋藤友悠馬(4)

2番の齋藤です。幾億年ぶりのベスコン状態での茨戸レガッタとなり、各クルーの実力が顕著に現れた大会となりました。商大は北大と東経大どちらにも勝てず、悔しい結果となりました。練習では「4人の歩み寄り」を大事にして、漕ぎのリズムはかなり揃ってきてはいたのですが、自分は水中のイメージがまだ掴めておらず再現性に欠けていました。ライバルの漕ぎを見て、まだまだ自分たちには伸び代があると感じると同時に、このままだとまずいなと危機感も感じました。レセプションでは東京農業大学の方々と話すことが出来て楽しかったです。東経の方々とはあまり話せませんでした。彼らと戸田で再会した際には、茨レガとは見違えるような強い商大を見せてやりたいです。

○小高亮太郎(4)

男子舵手付きフォアのバウで出場した小高亮太郎です。結果は北大、招待クルーの東経大に次ぐ3着。非常に悔しかったです。4年目としてのクルーの出来がまだまだ未熟で、レースの結果・内容共に厳しいものでした。ただ、2年生の時に見たA決勝で鬼スパートを決めて優勝した東経大のクルーを間近で見れたこと、レセプションではライジングスターの西海君から学びを得られたことなど非常に有意義な大会となりました。同時に彼とのボートの考え方から、新しい気づきも得られました。ホームグラウンドの茨戸で負けてしまいましたが、戸田でこの借りを返したいと思います。東経のクルーとかなり仲良くなってTシャツ交換までしたので、早く会いたいです。話しかけにあって良かった。

○田鎖龍汰(4)

男子舵手付きフォアにcoxとして出場しました。予選では、1日に2回レースが行われると

ということもあり、出し切ることなく突破しようとプランを立てていました。しかし、後半の石狩翔陽高校のスパートでかなり追い上げられてしまいました。結果的に一位で突破できたものの、もっと圧倒して自信を持って決勝に行けば良かったなと思います。そして決勝は序盤から二艇に差をつけられ、私含めクルー全体が焦ってしまったことで最後まで揃わず、3位という結果になってしまいました。負けた二艇に比べると明確に違うのはキャッチのはやさだったので全日本から改善できなかったことが負けた要因だと思います。そして1000mレースはかなり短いので、2000mの時よりも高いレートで安定した漕ぎをしなければならぬと学びました。

○森本萌絵（3）

去年は優勝出来ましたが今回は準優勝に終わりました。去年よりもスタートも上手くいったし蛇行もしなかったしフォームも良くなったはずですが負けてしまいました。シンプル悔しかったです。

○森山誠也（3）

今シーズン初のレースでした。全体の漕ぎに安定感がなくコンスタントのところではタイムが落ちてしまい、いいタイムを出すことが出来ませんでした。今回茨戸レガッタの男子シングルで優勝した東経大の西海さんは、練習の質と量にももちろんこだわっていますが、リギングに特にこだわっているとおっしゃっていました。艇に体をあわせるのではなく、自分の体に船を合わせる事が大事だと言っており、僕も自分に合ったリギングを追求し低速につなげたいと思います。

○南澤慧海（1）

久しぶりのシングルでの大会で少し緊張していたのを覚えています。結果的には悔しいものに終わりました。来年は招待クルーも全員倒して優勝したいなと思っています。

○山之内大起（4）

最初で最後のcoxでした。ラダー上手くきれるかどうか不安でしたが、新人初の大会で皆楽しんできたみたいで良かったです。ありがとうございました。

○西海谷響（4）

練習時間が圧倒的に不足している中、新人のクルーに同乗し、レースに出場した。技術面など改善出来る兆しがあったものの、レースまでに間に合わず、悔やまれるレースとなってしまった。これからの成長を期待したい。

○藤本洸明（1）

夏を微かに感じる頃、茨戸レガッタが行われました。

長い感想は思い付かなかったので一言で言うと、

みんなとできて楽しかった です。

○本田大斗（1）

初めてのレースでしたが、四年生の先輩お二人のお陰で安心して臨むことができました。パンパンの腕とあがった呼吸から大きな達成感を感じることができましたし、レースの後に横のレーンの方々から温かい声をかけていただいて、楽しくて良い経験になりました。

監督報告

監督報告

監督 谷津法彦(平成5年卒)

☆茨戸レガッタ(6/28,29)

舵手付フォアは全日本選手権の完敗から1か月で茨戸レガッタが待っていました。5月は不連続きでしたが、6月に入ってから練習も軌道に乗り、長距離UTトレーニングで基礎的な漕ぎのテクニックを磨いていきました。しかし何となく違和感が払拭できず、特に順の流れだと途端にキャッチが甘くなるなど好不調の波がありました。本番は2日ともベスコン。タイムは3'43"で3位。茨戸特有の後半300~400mくらいが逆の流れになる状況。ただそこまでタイム落とすほどのコンディションではなかったので不本意な結果です。優勝した北大には1,000mで9秒離されました。全日本選手権の際2,000mで14~15秒付けられた事を考えると差は縮まっていないのです。約1か月後の対北大戦に不安材料を残す結果となりました。

特筆すべきは男子シングルの南澤(1)でしょう。青森・田名部高校で3年間漕ぎ国スポにも出場した経験を持つ男です。最初の頃こそ漕ぎの感覚を取り戻すのに精一杯な感じでしたが、大会2週間くらい前から潜在能力を発揮し始め、3年生の森山と並べていい勝負が出来るくらいに仕上げてきました。森山にとっても発奮材料になったことでしょう。

唯一の女子漕手である森本(3)は3月に戸田で春合宿を行い、艇庫開きの後も順調に練習量

を増やしていきました。毎回の乗艇練習では試行錯誤を重ねてテクニックの定着を図りましたが、持ち前のパワーをなかなか艇速に反映させてあげられなかったのは自分の未熟さでしょう。レースでは同期のライバルにして昨年の全日本新人戦銅メダリスト・関さん(北大)に水を開けられての準優勝。残念ながら2連覇はなりませんでした。

私宛のご質問等は以下のアドレスまでお願いします。

谷津 法彦 n.tanitsu@yahoo.co.jp

後援会費について

後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額です。¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会則に則り、満年齢65歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方の原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、**日本信販の自動引落サービス**をご利用できます。できる限り多数のOBの方々をご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(若菜海斗)か担当の平成10年卒佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガクソ
ウティブ

店番:341
口座番号:3657349
取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 2年目 綿谷日芽野
TEL:090-9641-6317
Mail: himetti8191222@gmail.com

＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

- ・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

- ・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

- ・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしくお願いいたします。

連絡先: タイムス班3年目 森山誠也
TEL: 090-8192-5179
Mail: sibainu136udon@gmail.com